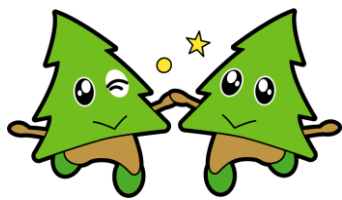


# あきたスギッチファンド通信



No. 9 2012年2月10日発行

## 特定非営利活動法人 あきたスギッチファンド

TEL 018-839-8941

FAX 018-829-5803

平成23年度も残すところ1カ月余り。この年は東日本大震災に明け暮れた1年として深く心に刻まれることでしょう。

特定非営利活動法人あきたスギッチファンドも少なからずこの影響を受けました。被災者支援を指定した寄付金が多くなったこと、被災者支援活動団体から助成金の要求が多かったことが挙げられます。今後もこの傾向は続くことと思いますが、被災者に寄り添った支援活動をどう築いていくか、各団体の創意と工夫が待たれます。

昨年6月に改正NPO法と税制改正法が成立しました。これによって寄付優遇税制を適用できる「認定NPO法人」になるための基準が大幅に緩和され、同時に寄付した人の税負担も大幅に軽減されます。その概要を下記に紹介します。

特定非営利活動法人あきたスギッチファンドでは「認定NPO法人」の申請をしております。結果はもう少し先になります。「認定NPO法人」になって、活動を安定して継続して参りたいと考えております。

### ファンドの状況

(23年4月～24年1月)

本ファンド	
団体寄付	2,020,308
個人寄付	259,400
合計	2,279,708 円
分野指定	
東日本大震災支援	1,038,841
自殺予防	249,769
環境	250,000
合計	1,538,610 円
冠ファンド	5,000,000
東日本大震災三国	
こども支援ファンド	
合計	5,000,000 円
総合計	8,818,318 円

### 認定NPO法人

#### 認定NPO法人とは

NPO法人のうち一定の要件を満たすとして国税庁に認定を受けた団体のことです。公益性が高いと判断したNPO法人に税制上の優遇措置を与え、市民活動の促進を図ります。

#### 認定NPO法人になるには

認定を受けるには、寄付者の数や収入のうち寄付金が占める割合が一定の値以上であるか、NPO法人として適正な事業や運営を行っているか、運営組織および経理が適正であるかなど、いくつかの要件を満たす必要があり、それが大変厳しく、全国で243（平成24年2月1日現在）となかなか増えない状況でした。

#### 認定が取りやすくなります

昨年6月の改正NPO法により、パブリック・サポート・テスト一幅広く市民の支持を得てい

るかどうかを計算式によってはかる一の要件の緩和、これまで国税庁が認定していたのが都道府県または政令市の認定に変わるなど、認定要件が緩和され、認定が取りやすくなりました。

#### 寄付がしやすくなります

昨年6月の税制改正により、認定NPO法人へ寄付した場合、税制優遇を受けることができるようになります。

- ・個人が寄付をした場合、寄付金控除を受けられます。最大で約50%の税額控除！
- ・法人が寄付をした場合、損金算入限度額の枠が拡大されます。
- ・相続人が寄付した場合、寄付をした相続財産が非課税になります。

その他、詳しくは国税庁のホームページをご覧ください。

## 第6回（2011年度第2回）助成先決定

今年度2回目（通算第6回）の助成事業は、皆様から頂いたご寄付を原資として11月13日（日）～12月11日（日）募集しました。募集ファンドが6種類と多かったのですが、分野指定の環境と自殺予防は応募がありませんでした。本ファンドの30万円コースの応募は15件に上り、書類審査の結果9団体が公開審査に進みました。1月22日（日）選考委員会を開催し、協議と公開審査を経て、下記のように助成先を決定しました。

今回助成を受ける事業の実施期間は、1月23日から7月31日までとなります。

募集ファンド	募集团体数	応募数	助成決定団体数
本ファンド10万円コース	5	6	4
〃 30万円コース	4	15	5
分野指定ファンド			
環境保全 10万円コース	2	0	
自殺予防 10万円コース	2	0	
震災支援 30万円コース	2	3	2
三国こども支援ファンド 30万円コース	3	2	1



### 助成先一覧

#### ＊本ファンド 10万円コース

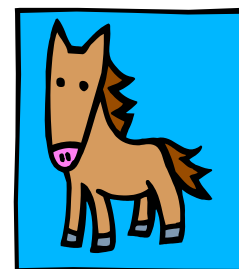
応募総数6件の中から4件を採択しました。

団体名（団体所在地）	事業名、事業概要
牛島つどいの家 (秋田市牛島)	<b>牛島つどいの家</b> 独りぼっちの高齢者をなくすために自宅を開放し、3月～7月、毎月1回行事と食事を楽しむつどいをひらき、交流を図る。
紙芝居グループ「昔々な」 (横手市山内)	<b>繋げよう！秋田の民話から地域の輪</b> 地域に伝わる民話を親しみやすい紙芝居という形で保存すると共に、各地で上演し地域の交流の機会を作る。
『心のキャッチボールの会』 (能代市昭南町)	<b>『スマイル・サロン&amp;脳力トレーニングの会』</b> 大型テレビを購入し、「脳力トレーニング」「DVD鑑賞による役立つ情報」等を紹介する。これによって、孤立しがちな人たちが集い、対話型のコミュニケーションを図り、仲間作りにつなげる。またプリンターも購入し、チラシや資料を作成して情報発信し、活動の幅を広げていく。
一般社団法人 秋田県助産師会 (秋田市茨島)	<b>役立つ子育て・孫育て講座</b> 育児は母親だけのものではない、家族が協力して行うものである。家族の育児力を高めることを目的に、祖父母、妊婦、その夫を対象とする講座を会員が講師となって5回開催する。

＊本ファンド 30万円コース

応募総数15件の中から5件を採択しました。

団体名（団体所在地）	事業名、事業概要
NPO 法人 蜘蛛の糸 （秋田市大町）	<b>いのちの総合相談会</b> 日ごろ中小企業経営者とその家族のいのちを守り、再起を支援している団体として、TDK が発表した人員整理の影響は看過できない。その影響が懸念されるにかほ市、由利本荘市で一人の相談者の悩みをワンストップで解決する「いのちの総合相談会」を3月に開催する。
秋田県聴覚障がい児を持つ親の会 （秋田市御所野）	<b>聴覚障がい理解啓発事業</b> 現在、聴覚障がいに対する周囲の理解が進んでいない。聴覚障がい児の健やかな成長、自立のために、彼らへの理解、啓発と、どのような支援が必要かを学ぶ講演会、学習会を開催する。この事業を通して、聴覚障がい児への理解の輪を広げる。
ちっちゃいもの倶楽部 （太田町）	<b>ちび馬と遊ぼう！ ～障がい児の体験支援～</b> 障がい児やその家族を対象に、「馬」について知る活動、障がい者乗馬インストラクターの指導による乗馬体験活動などを行う。また支援する側も指導技術の向上に努める。障がい児に馬とのふれあいを通して、生き物とともに行う活動として楽しんでもらうと共に、身体機能の向上に繋げることができる。
ワンデイシェフの店 （大館市大館）	<b>孤独・閉じこもり予防の為にふれあいの居場所開設</b> 中心市街地の空き店舗を利用して、毎日日替わりの店長が料理を提供するお店を開いている。その場を営業終了後の16時～20時、孤独な人、閉じこもりがちの人が集う居場所にする。週5日開設し、自由に、ふれあいの場として使ってもらう。サポーターが、メンタルケアや相談、話し相手として参加協力する。
千秋公園 Jazz Impression 実行委員会 （秋田市大町）	<b>仲小路 Jazz Impression</b> 中心市街地の賑わいを生むことを目的に仲小路で開催する。アトリオン仲小路側エントランスを会場に、一流のミュージシャンによる演奏と共に、歩行者天国、仲小路マーケットなどと連携し、集客を図る。



＊三国こども支援ファンド 30万円コース

- ・東日本大震災の被害にあい、秋田県内に避難しているこどもを多方面から支援する活動を行うNPO等の団体の事業に助成。  
応募2件の中から1件を採択しました。

団体名（団体所在地）	事業名、事業概要
自然あそび親子サークル Akita コドモの森 （秋田市濁川）	<b>秋田県内在住被災家族支援活動</b> 震災で被災し、秋田に避難してきた子育て世帯を対象に、こどもたちの遊び場づくりとその家族のリフレッシュの場づくり、「秋田とつながる」避難者同士の交流イベントを開催する。

## ＊分野指定 震災支援ファンド 30万円コース

- ・東日本大震災の被害にあい秋田県内に避難している方々を支援する、あるいは被災地で復興支援活動をする NPO 等の事業に助成。応募3件の中から2件を採択しました。

団体名（団体所在地）	事業名、事業概要
秋田大学復興支援団体 AKITAID （潟上市天王）	<b>被災地産業復興支援</b> 気仙沼を拠点に（主にがれき撤去など）支援活動を行ってきたが、これからは気仙沼の産業の復興の様子をパンフレット等にまとめ、秋田市民に大々的に広報する。このようにしてアンテナショップ、アルヴェの物産展などで気仙沼の産物の売上を伸ばし、産業復興を支援する。
地域活性化集団 （八郎潟町）	<b>「3. 1 1 鎮魂祭」及び「全国への感謝祭」（仮称）</b> 震災で大きな被害を受けた岩手県野田村に於いて、標記の事業の企画立案及び指導を行う。具体的には、 ・震災の悲しみを癒すと共に、全国、全世界から受けた支援に感謝するイベントの開催 ・地域全体で感謝のメッセージを発信し地域の復興をアピール ・野田村を訪ねる村外客の受入体制を構築し、観光振興に繋げる、など。

## こんな事業を実施しました（第5回助成金事業から）

### 秋田Book Boat

「秋田 Book Boat」実行委員会  
本ファンド10万円コース採択事業。  
本の愛好家がゆるやかにつながる場を提供するという目的で、「一箱古本市」、「百杯会特別編」、おはなし会、県立図書館書庫見学会など多岐にわたるイベントを実施した。



Book Boat の  
ちらし

### NGO 連携による高校生の国際感覚養成事業

秋田市立商業高等学校ユネスコスクール班  
本ファンド30万円コース採択事業。  
NGO 等の主催するスタディツアーや国際理解・協力に関するイベントや講座に参加することで、高校生の国際感覚を養成することを目的として事業を企画。24年1月に3名の高校生がNGO RASICA 主催のネパール・スタディツアーに参加し、その成果を校内で発表した。



ネパールの  
学校で

### 第7回能代宇宙イベント水ロケット大会参加補助事業

YAC 秋田分団



水ロケット大会

第5回ファンド30万円コース採択事業。

ペットボトルで製作する水ロケットは、青少年に宇宙への夢を抱かせる。23年8月21日「能代宇宙イベント」での水ロケット大会に、地震で県内に避難している子どもたちも招待して参加して水ロケットを体験してもらった。自分たちが作った水ロケットが、大空高く飛んでいく様子を「見て、子どもたちは感激の様子だった。